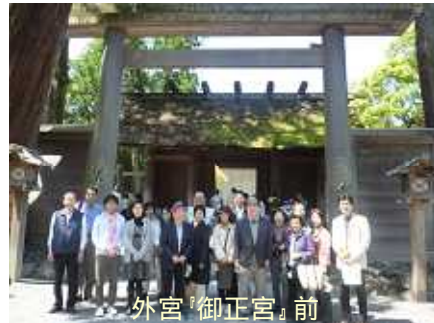


伊勢神宮参拝 合同野外研修会 ～ 語り継ぐ思い出～



伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)

いざ
神宮へ



のぞみ17号車内



名古屋にて「みえ号」乗換え



みえ5号車内



JR伊勢市駅



昼食 @石がわにて



外宮参拝



三重交通 島田運転手



伊勢神宮を熱く語る
伊勢観光協会 荒堀さん



火除橋



手水舎



第一鳥居



神



伊勢神宮参拝合同野外研修会

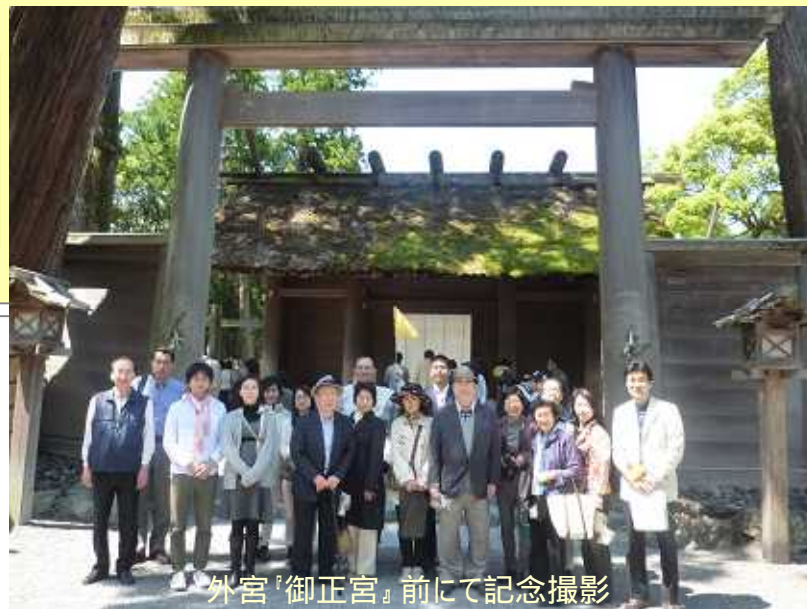
2012.05.12(土)
~13(日)



『御正宮』外弊



『御正宮』前にて



外宮『御正宮』前にて記念撮影



多賀宮
風土宮
→



多賀宮前にて



多賀宮



風宮前にて



土宮前にて



神楽殿



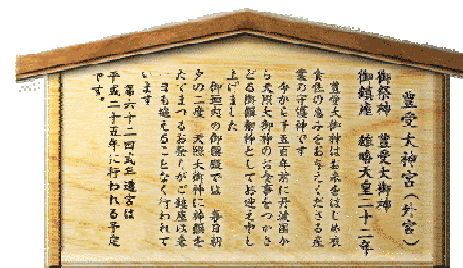
せんぐう館 庭園



荒堀さんへの御礼



外宮参拝を終えバスへ



伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)

おはらい町
おかげ横丁



おはらい町の街並み



赤福本店



おかげ座



吉兆招福亭店内



おかげ横丁
太鼓櫓



おはらい町から
五十鈴川を望む

内宮参拝



宇治橋鳥居



宇治橋



伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)



神苑



手水舎



第一鳥居



五十鈴川御手洗場



神楽殿

太鼓櫓



神楽御饗殿



荒祭宮



風日祈宮橋



風日祈宮



外幣殿



新御敷地



「御正宮」前



内宮「御正宮」前にて記念撮影

伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)

答志島へ



三重交通チャーターバスにて鳥羽に移動



佐田浜港からチャーター船「なぎさ号」に乗船



伊勢のお宿



ニューやま七



“やま七”の仲居さん



豪華な海の幸に見入る女性陣



石原代表ごあいさつ



嶋さんごあいさつ



榊



富山さん 乾杯ご発声

伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)



伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)

海ホタル ツアー



かなり、寒いよね~!



星降る夜空を見上げて感嘆!



一体どこへ行くのかな?



一体何があるのかな?



「やま七」ご主人の話に聞き入るツアー参加の面々



海ホタルは、陸のホタルとは全く違う生き物。海の中で青く光り輝く姿は星空のように幻想的です。学名を「ヴァルグラヒルゲンドルフィー」といって、甲殻類の一種。体長は3mm程度でメスがやや大きめ。

昼間は海底の砂の中において、夜になると海をふわふわと遊泳します。刺激を受けるとルシフェリンとルシフェラーゼという酵素を吐き出し、海中の酸素と激しく反応して青白く光ります。何のために光るのか、詳しいことはまだよくわかっていないのですが、仲間に危険を知らせたり、求愛のサインともいわれています。

朝の答志島 散策



浜崎伝助出現?!



美多羅志神社 鳥居



“龍神さん”出現!



狙いを定めて~



ハイポーズ!

伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)

朝の出発
準備



青春クルージング



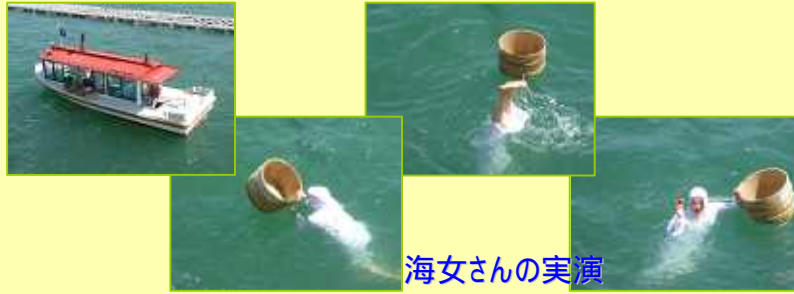
裕次郎気分?



伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)

ミキモト
真珠島



海女さんの実演



御木本幸吉真珠王像前にて記念撮影



真珠王からのメッセージ
~ココロとカラダに効く言葉~



御木本幸吉記念館



養殖真珠発明の瞬間の絵



真珠王を支えた
うめ夫人

17歳で幸吉に嫁ぎ五児を儲ける。
夫・幸吉の真珠の発明を助け、
最初の養殖真珠は、うめが開いた
真珠貝の中から見出された。
不幸にして、養殖真珠発明直後、
32歳の若さで不帰の人となった。
うめを忘れぬ幸吉は再び娶らず、
96歳の天寿を全うした。



伊勢神宮参拝合同野外研修会

2012.05.12(土)
~13(日)

鳥羽
水族館



《編集後記》

5月12日(土)・13日(日)の二日間、私たちは新宿西木鶏クラブと合同で、20名の参加を得て、伊勢神宮参拝野外研修会を実施しました。

伊勢神宮は第62回式年遷宮を来年に控え、内宮・外宮そして参道の街々が、大きな希望と期待の中、粛々と滞りなくその準備を進めている様子が伺えました。

雲一つない好天の中、まず地元ガイドさんの丁寧な説明に頷きながら、外宮参拝。火除橋を渡り、手水舎 第一鳥居 御正宮 多賀宮 土宮 風宮の行程を一時間。おはらい町・おかげ横丁散策の後、内宮参拝。

五十鈴川の清流を眼下に宇治橋を渡り、手水舎 第一鳥居 五十鈴川と御手洗場 御正宮 荒祭宮 風日祈宮を一時間。天照す陽光、紺碧の天空、緩く巻く水面、濃淡の緑。生命の息吹、神宮の神々に包まれて、私たちは皆、清々しく晴れやかに、感謝の気持ちで一杯に満たされました。

神宮を後に、鳥羽から船で答志島へ。伊勢えび・アワビ等々、ふんだんな海の幸に舌鼓を打ちつつ、心置けない仲間が、今日の思い出を、明日の夢を、時を忘れて歓談。

翌日も天照す快晴。高速船のデッキに集い、空海一体の中、潮風を全身に浴びて船旅を堪能。海女の実演を楽しみ、ミキモト真珠王の生涯を学び、水族館で童心に戻り、海の世界に遊びました。

老若男女20名の野外研修会は、伊勢神宮の懐に抱かれて、豊かな実りを実感し、今後一層の木鶏信条実践に向けて、心を新たにす研修会となりました。

(古望 高芳 記)

「木鶏信条」

- ① 我々は徳性を養い、人格を高めるためにここに集い、共に学ぶ。
- ② 我々は教知を通じて生きた人間学を学び、その学びを世に広め、後世に伝えることをもって会員たるの本旨とす。
- ③ 我々は常に自らのいる場を清め、高める。
- ④ 我々は勤勉・正直・親切の徳目をめざす。
- ⑤ 我々はこの世を運命を創るものであることを知り、
1) 高い志 2) 感謝 3) 意直 4) 木鶏 5) プラス発想の五拍を尊ぶ。
- ⑥ 我々は他を批判・中傷することなく、絶えず自反尽己に努める。
- ⑦ 我々は「美点重視」を信条に、春風を以て人に接し、秋霜を以て自らを肅む。
- ⑧ 我々は成功は多く辛苦の日々にあり、失敗は多く得意の中にあることを忘れず、懐心を排し謙虚に生きる。
- ⑨ 我々は志趣を旨とし、報恩に生きる。
- ⑩ 我々はいかに生み出ししものへの感謝を忘れず、生涯現役・臨終定学をモットーに自己完成の道を歩む。



「木鶏信条に恥じない毎日を送りましょう」

